京都工芸繊維大学

第27回 公開講演会

緑の地球と共に生きる

日時　2022年6月29日（水） 15:20 - 17:40
会場　大学センターホール（ハイブリッド） 入場無料

webex ウェブビナー情報
ウェビナー番号: 2517 930 5034
パスワード: FqPtJNPP643
https://cis-kit.webex.com/cis-kit/j.php?MTID=mdf15f8e9b6caf777c55928e3ed219697

＊事前登録は必要ありません

開会の挨拶　15:20 - 15:30　副学長　中　健介

講演 1　15:30 - 16:30

海洋マイクロプラスチック問題に挑むバイオベースポリマーサイエンス

京都工芸繊維大学 繊維学系　教授　佐々木 園

近年、マイクロプラスチック（大きさが5mm 以下のプラスチック片）による海洋汚染が注目されるようになりました。これまでに使い捨てプラスチック使用量の抑制やプラスチックごみの回収とリサイクルが行われてはいますが、地球環境を健全に保つには十分とは言えません。地球環境に負荷をかけない新たなプラスチック材料の研究開発と実用化を加速させる必要があります。土壌や海洋での分解性を有するバイオベースポリマーをベースに、使用条件下で分解が進まず力学・機械特性等を担保出来る新たな材料の研究が現在進められています。本講演では、海洋マイクロプラスチック化問題の解決に挑む材料研究の最前線を紹介します。

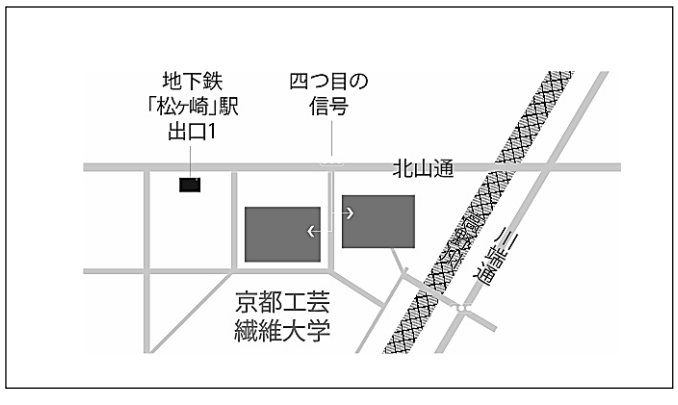
講演 2　16:30 - 17:30

Nobody Knows the Environmental Fate of Plastic Garbage

京都大学大学院 地球環境学堂　准教授　田中 周平

雨の日の後に琵琶湖岸を歩いていると流れ着いた多くのごみを見かけます。そのほとんどがプラスチックごみです。実はこのプラスチックごみがどこから来て、どれくらいの期間で流れ着いて、この後、どのような大きさでどこに行くのか分かっている人はいません。小さくなったプラスチック片は魚などの生物に取り込まれ、さらに小さくなったプラスチックは大気にも拡散していることが分かってきました。私たちの生活を便利にしてきたプラスチックを適切に管理しなかった結果、いろいろな生物に影響を与え、その影響は私たち人間にも及ぶかもしれません。8年間続けてきた研究の成果の一部を分かりやすくご紹介したいと思います。

閉会の挨拶　17:30 - 17:40　環境科学センター長　前田 耕治



主催　京都工芸繊維大学 環境科学センター
お問い合せ　075-724-7976、environ@kit.ac.jp